

## 平成29年の救急出動について

平成29年の救急出動件数は527件（不搬送55件）、搬送人員は474人でした。

区分	計	救急事故種別					管外搬送	
		急病	一般負傷	転院搬送	交通事故	その他		
出動件数	527	327	91	62	24	23	278	
搬送人員	474	293	84	62	19	16	280	
傷病程度	死亡	15	13			1	1	2
	重症	68	38	16	12	1	1	60
	中等症	214	117	36	46	5	10	149
	軽症	177	125	32	4	12	4	69
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不搬送 55 件</li> <li>・ 平成 28 年の出動件数は 556 件</li> </ul>							

夕張市の平成29年出動状況は、次のとおりです。

- 救急件数は前年比で29件減少しました。（平成28年は556件）
- 出動件数527件中、278件（52.8%）が管外搬送です。
- 搬送人員474人のうち、360人（76%）が65歳以上の高齢者です。
- 搬送人員474人のうち、177人（37.3%）が軽症で、そのうち69人（39.0%）が管外搬送されました。

（※1） 傷病程度

死亡：初診時において、死亡が確認されたもの。

重症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症：傷病の程度が重症または軽症以外のもの。

軽症：傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

平成29年中の夕張市における救急出動件数は527件（対前年比29件減）、搬送人員は474人（対前年比33人減）で、減少となりました。救急出動件数および搬送人員で見ると、最も多かった事故種別は急病327件（62%）293人（61.8%）、次いで一般負傷91件（17.3%）84人（17.7%）でした。

傷病程度別（※1）で見ると、軽症177人（37.3%）、中等症214人（45.1%）、重症68人（14.3%）、死亡15人（3.2%）となっており、前年と比較すると重症および軽症での救急要請が減少しました。

全国的に救急出動件数は年々増加しており、平成28年中における全国救急出動件数および搬送人員は過去最多となっております。現在、本市における救急体制は高規格救急自動車を2台運用しており、救急出動件数の半数以上は市外へ搬送されています。

また、昨年救急車が2台とも出動した回数は71回で、救急車が出動不能な時間が26時間ありました。対応できる救急事案には限りがありますので、引き続き救急車の適正利用をお願いいたします。